

科目名	音楽療法の技能Ⅲ	形態	講義	開講期	秋学期
担当教員	猪狩 裕史	単位	2	年次	2

### ＝授業科目の目標＝

1. 音楽療法の技能Ⅰに引き続き、ピアノとギター伴奏による弾き歌いの練習をして、レパートリーを広げ、技術を高める。
2. 代替コード、ヴォイシング、テンションなどについて学び、実践に活かす基礎を身につける。
3. 音楽療法の技能Ⅰに引き続き、コードネームを学びコードネームを見ながら伴奏が弾けるようにする。
4. 音楽療法の技能Ⅰに引き続き、弾き歌いをしながらグループ歌唱をリードする練習をして実践においてもその技術を活かせるようにする。
5. 音楽療法の技能Ⅰに引き続き、音楽療法でよく使用される曲について調べ、その知識を実践活動において活かせるようにする。
6. トーンチャイム、ミュージックベル、その他の楽器を使った合奏を考え、合奏をリードする。
7. 指揮の基礎を身につける。

※日本音楽療法学会で認定する音楽療法士（補）受験資格を取得するために必要な科目である。主専攻以外の学生が取得する場合は、音楽療法について学ぶ意欲を持っていること。また、音楽療法総論も履修していることが望ましい。

### ＝履修の条件と学習の方法＝

- ・ 各自で自主練習をして授業に臨むこと。
- ・ 楽器の準備と片付けは、全員で協力して行うこと。
- ・ 体調不良や家庭の事情で欠席する場合は、授業開始までにメールか電話にて連絡を入れること。また欠席した場合は、前の授業で何が配布されたかを他の受講生に聞いて確認し、その資料を担当教員のところまで取りに来ること。
- ・ 専攻学生以外の学生が履修する場合、音楽療法総論も履修していることが望ましいが、専攻学生に対する配当年次を見ること。その学年以下の学生は、履修出来ないものとする。

### ＝授業内容＝

- 1回 シラバスを用いたの授業内容の説明、ギター、キーボード弾き歌い練習
- 2回 ギター、キーボード弾き歌い練習、コードネーム
- 3回 ギター、キーボード弾き歌い練習、コードネーム、指揮(その1)
- 4回 ギター、キーボード弾き歌い練習、コードネーム、指揮(その2)
- 5回 ギター、キーボード弾き歌い練習、コードネーム、指揮、弾き歌いでグループ歌唱リード
- 6回 ギター、キーボード弾き歌い練習、コードネーム、指揮(録画)、指揮の録画を見て意見交換
- 7回 ギター、キーボード弾き歌い練習、コードネーム、伴奏づけについて、弾き歌いでグループ歌唱リード
- 8回 ギター、キーボード弾き歌いテスト1、コードネーム、伴奏づけについて
- 9回 ギター、キーボード弾き歌い練習、コードネーム、伴奏づけについて
- 10回 コードネームテスト、弾き歌いでグループ歌唱リード、合奏を考える、ギター、キーボード弾き歌い練習
- 11回 課題の発表、提出、弾き歌いでグループ歌唱リード、合奏を考える、ギター、キーボード弾き歌い練習
- 12回 ピアノ伴奏テスト(コード)、弾き歌いでグループ歌唱リード、合奏、ギター、キーボード弾き歌い練習
- 13回 ギター、キーボード弾き歌いテスト2、合奏、弾き歌いでグループ歌唱リード
- 14回 ギター、キーボード弾き歌い練習、弾き歌いでグループ歌唱リード(その1)
- 15回 ギター、キーボード弾き歌い練習、弾き歌いでグループ歌唱リード(その2)
- 16回 (試験期間中) ギター、キーボード弾き歌いテスト3

## ＝成績評価の方法と評価の基準＝

- ・ ギター弾き歌いテスト 10%×3、ピアノ弾き歌いテスト 10%×3、ピアノでのコード伴奏テスト 10%、コードネームのテスト 10%、曲調べと発表 10%、合奏発表 10%、その他授業態度。
- ・ 学期中の実技テストについては、不合格の場合には、次の週に再試をする。
- ・ 無断の欠席は総合点より2%、無断の遅刻は総合点より1%の減点となる。課題提出の遅れは遅れる一日毎に1%の減点となる。
- ・ これらの点数を合計し、90点以上はS、80点～90点未満はA、70～80点未満はB、60～70点未満はC、60点未満はDとなる。

## ＝テキスト（必携）＝

《No.1》

書籍名：音楽療法の必須100曲 高齢者編

著者名：菅田文子、

出版社：あおぞら音楽社

《No.2》

書籍名：音楽療法の必須100曲 子ども編

著者名：菅田文子

出版社：あおぞら音楽社

《No.3》

書籍名：音楽療法の必須100曲 おとな編

著者名：菅田文子

出版社：あおぞら音楽社

《No.4》

書籍名：音楽療法の必須100曲 ノスタルジー編

著者名：菅田文子

出版社：あおぞら音楽社

《No.5》

書籍名：新装版・ちょっと嬉しい伴奏が弾きたい

著者名：平田紀子

出版社：音楽之友社

《No.6》

書籍名：開放弦でできる実践ギター・セラピー

著者名：吉田豊

出版社：あおぞら音楽社